

# 大学における支援の在り方

— 西日本工業大学の保健室の実践から —

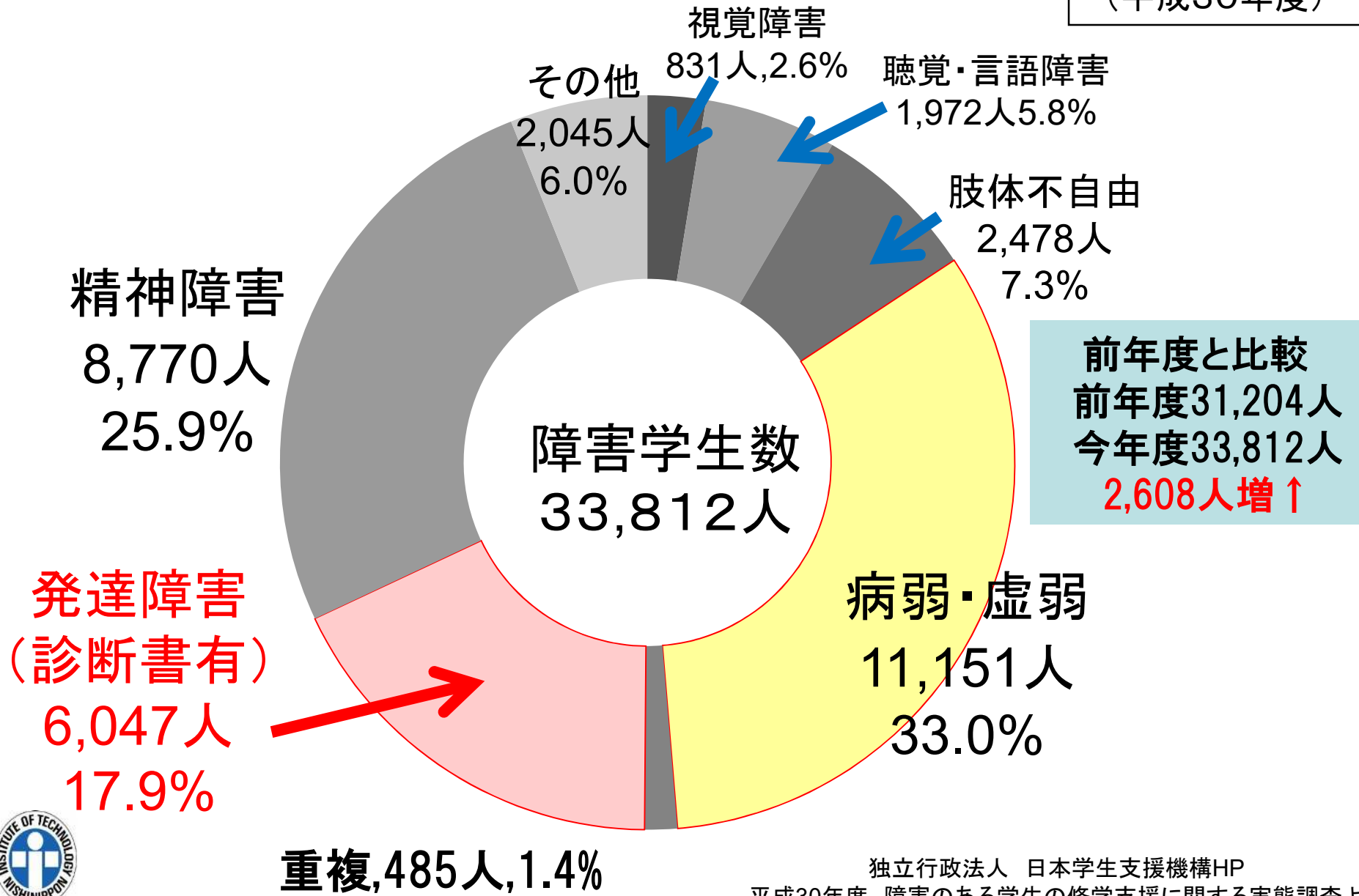
令和2年11月27日(金) 発達障害者支援地域協議会



西日本工業大学 米光真由美

# 大学生の発達障害

総学生数  
321万2010人  
(平成30年度)



# 修学上の配慮を求める法的根拠

- 発達障害支援法(平成17年)
- 障害者基本法(平成23年)
  - 精神障害(発達障害を含む)
- 障害者権利条約(平成26年)
  - 障害者を包容する教育制度及び障害学習を確保する



# 修学上の配慮を求める法的根拠

- 障害を理由とする差別の解消の促進に関する法律（平成28年4月）
  - 必要かつ合理的な配慮
- 障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（平成29年3月）
- 第4次障害者基本計画閣議決定（平成30年3月）



# 障害者差別解消法による 義務及び努力義務について

	不当な差別的 取り扱いの禁止	合理的配慮	職員対応要領
国	義務	義務	義務
地方公共団体	義務	義務	努力義務
国立大学法人	義務	義務	義務
学校法人	義務	努力義務	—

文部科学省 資料より



**SLD**・・・限局性学習症/限局性学習障害  
(旧LD:学習障害)

**ADHD**・・・注意欠如・多動症  
注意欠如・多動障害  
(旧注意欠陥/多動性障害)

**ASD**・・・自閉スペクトラム症  
自閉症スペクトラム障害  
(旧高機能自閉症等/  
アスペルガー症候群)



# 本人もまわりも 気づいていないことがある

- 小・中学校では6.5%
- 高校進学者のうち2.2%
- 通信制・定時制では15.7%

そういった子どもたちが  
ボーダーも含めて大学に入学している



# 大学で問題になる発達障害

## アスペルガー症候群

社会性の障害 コミュニケーションの障害  
こだわりが強く柔軟が欠如

## 注意欠如・多動性障害(ADHD)

注意の持続の障害 多動 衝動性

## 限局性学習症(SLD)

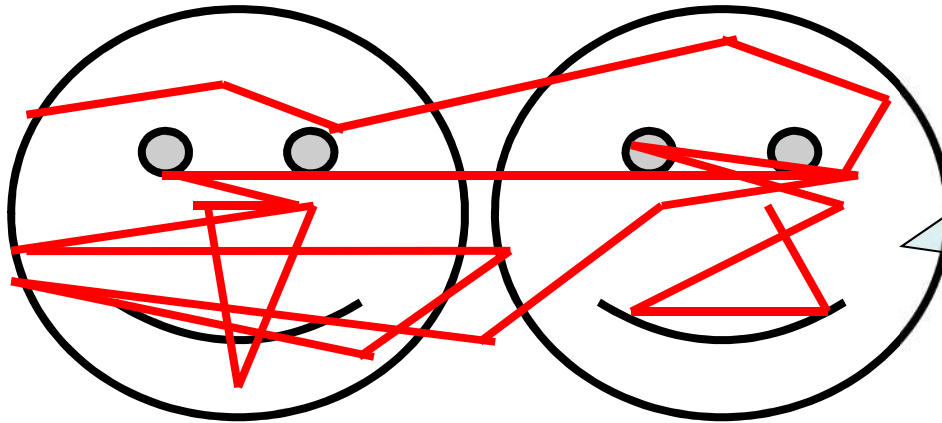
話す 聞く 読む 書く 計算する 推論する等の一部に  
著しい困難 成績不振と見なされがち





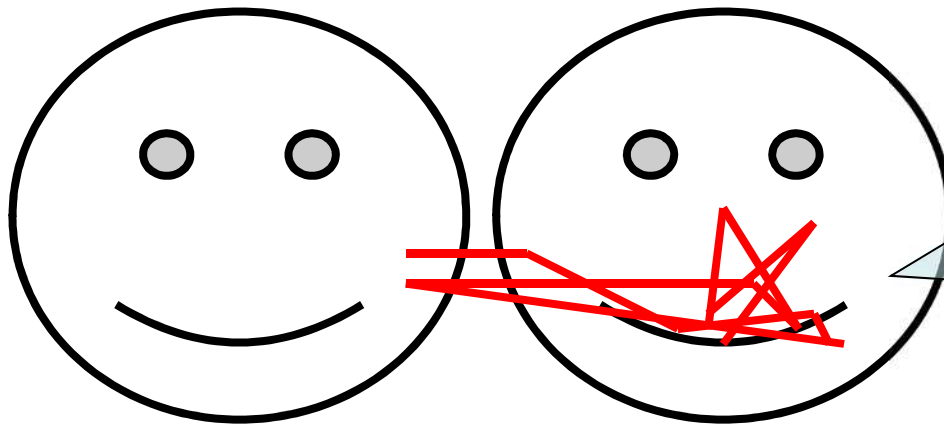
# 反応的探索スコア

定型  
16歳



全体を見ることが  
できる

AS  
16歳



視点に偏りが  
ある



# 悩みをじょうずに相談できない

- ①発達障害がある人は、悩みを人に伝えることが苦手です。
- ②順序立てて話をするのが苦手な人や、気持ちをうまく整理できない人などがいます。
- ③彼らは悩んでいても、それを人にじょうずに相談できません。
- ④彼らには「困ったら相談しなさい」と指示するだけでなく、**相談すること自体への支援も、必要なのです。**



# 本人の気持ち

- 本人も家族も発達障害に気づいていない場合があります。
- 自分の性格や家族のせいだと考えている。
- 問題の原因は別にあると考えているのです。



# 本人は特性をなかなか自覚できない

ほかの人にだって  
欠点がある。  
みんなも同じように  
努力している

会話を人にあわせる  
のが苦手だけど、  
自分だけが  
特別なわけじゃない。

自分はちょっと変な  
人間かも。でも、  
特別に目立つ  
ほどじゃない

本人のきもち



# 保護者の抱える 傷つきや葛藤を考える

◎子どもの言葉で衝動的に行動してしまう保護者

- 保護者自身も孤立感を感じている。
- 上手に連携が取れない。
- 保護者自身が「うつ症状」「不安症状」を抱えている。



# 勉強のスタイルが変わる

中学校から高校、大学へと進むにつれ

→ 学び方に自主性が求められる

大学では授業も学習テーマ等

→ 自分で選ばなければいけない

⇒ 発達障害がある人にとっては難題に

進路保障

大学

高校

中学

自主性は  
強くなる

支援は  
減っていく



# 就職上の問題

適性がわからず  
現実的でない職業を希望

就職活動の  
手順がわからな  
い

どのような職業に  
就きたいかわからな  
い



障害  
学生

履歴書が  
書けない

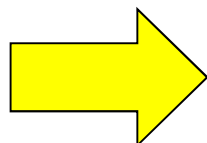
面接で返答に  
困る

# 人に言われなければ 特性に気づかない

高校生や大学生で、発達障害の特性に気づく人はあまり多くありません。

家族や大学教員が、本人の悩みに気づいて、積極的に声をかけなければ、発達障害が見過ごされるおそれがあります。

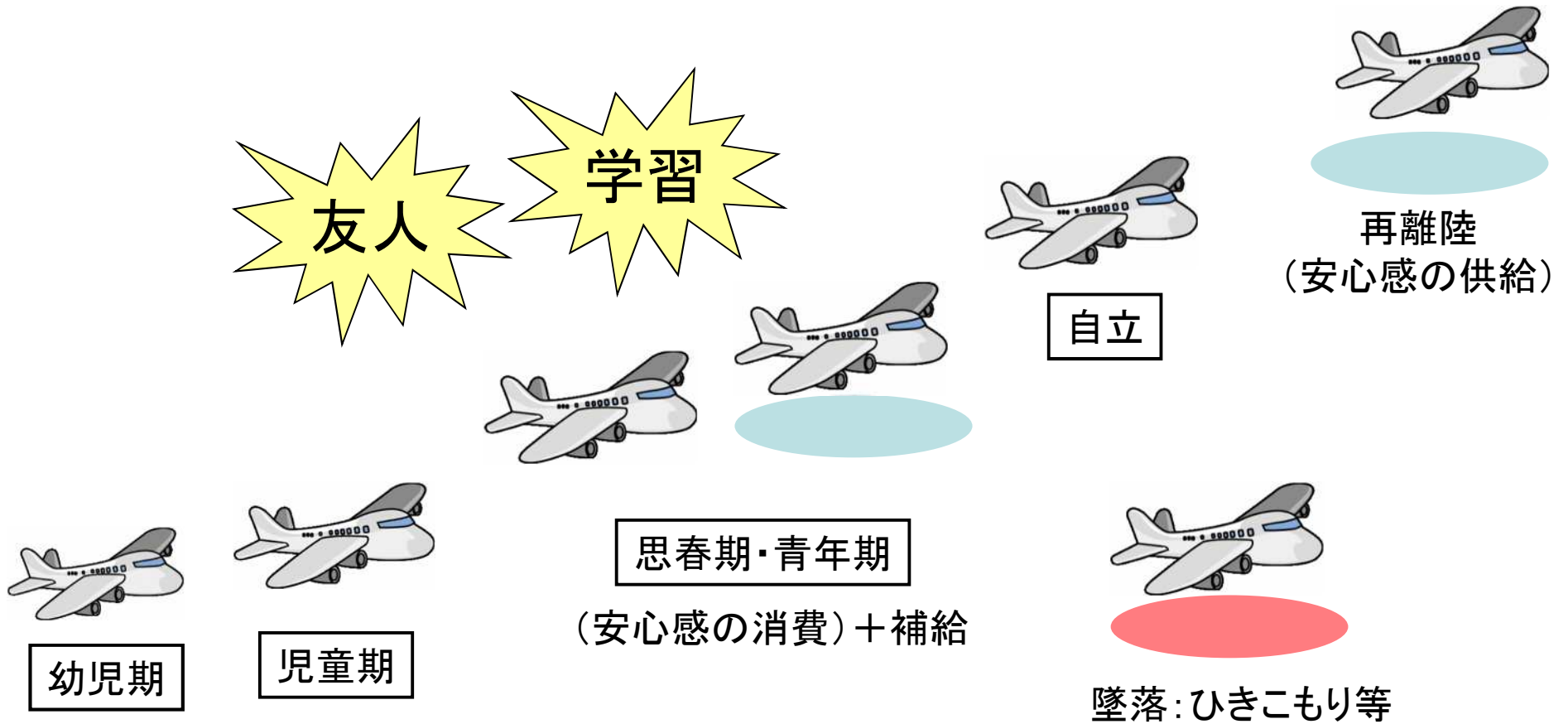
人に伝えるのが苦手なため、人に相談せず、インターネットで対処しようとする学生もいます。それも、**孤立**の原因になる可能性があります。



## 二次障害につながる



# 安心感と自立



# 「学習・行動理論」に基づいた教育実践！

してみせて    行ってきかせて    させてみて  
(モデル提示)    (教示)    (行動リハーサル)

ほめてやらねば    人は動かぬ！  
(強化)    (行動化)



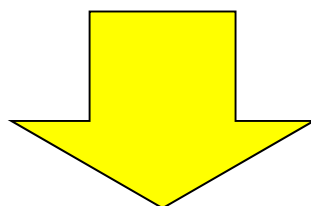
# 学内はもちろん、学外とも連携をとる

- 教職員関係者は、ひとりで発達障害支援にとりくむのはさげましょう。
- ひとりでは十分な支援はおこなえません。学内、学外を問わず、連携を取ります。



# ひとりでは越えがたい壁がある

「社会人になるのだから、就職活動はひとりでがんばろう」と考えると、難しい！



**サポートを得て、壁を乗り越える！**

- 発達障害者支援センター
- ハローワーク
- 就労移行支援事業所
- 障害者職業センター
- 若者サポートステーション

# 参考



# 富山大学では インターネットを相談に活用

## 学生向けのSNSを活用している

富山大学は、学生と教職員のみが使える情報交換や交流の場が、インターネット上に開設されています。

対面式の相談や、連絡事項の把握が苦手な学生も、インターネット上に情報があれば、落ち着いて対応できます。

富山大学PSNS  
Psycho-Social Networking Service

メールアドレスと初期パスワードが記載された招待状をお持ちの方は、右のフォームから直接ログインできます。

>> 参加申し込みはこちらから <<

富山大学PSNSへ参加したい方は、こちらのボタンをクリックして、必要事項をご入力の上お申し込みください。

(注) 富山大学PSNSは富山大学所属の学生と教職員のみ参加することができます。

電子教材提供について E-learning Contents 閲覧はこちらから

E-MAIL  
PASSWORD

次回から自動的にログイン  
>パスワードを忘れた方はこちらへ

ログイン



富山大学PSNS <https://shien.adm.u-toyama.ac.jp/>

# 東京大学

## ●コミュニケーション・サポートルーム

・コミュニケーション、発達障害に関する学生対象の相談、教職員へのコンサルテーション、発達障害に関する啓発活動

## ●学生相談所

・学生対象のカウンセリング、教職員・保護者対象のコンサルテーション

## ●精神保健支援課(保健センター精神科)

保健センター精神科(本郷・駒場・柏)での学生・教職員の精神科診療及び相談、メンタルヘルスに関する予防・啓発活動

## ●なんでも相談コーナー

どこに相談に行けばよいか、わからないときどんな相談でも気軽に利用してください

# 連携シート

西日本工業大学 米光案

記入年月日		記入者	
生徒氏名	生年月日 年齢	性別	
住所			
<所属 [学校名] >			
<経歴> 幼稚園                  小学校                  中学校                  高校など 備考 (* 特別支援学級在籍など)			
<診断名> 診断を受けた医療機関・受けた年月日 主治医			
<既往症>			
<現在利用している機関>			
<生徒の実態> コミュニケーション 対人関係 行動・特技			





新入生各位

保護者各位

西日本工業大学 保健室

## 健康診断問診票について

ご入学おめでとうございます。

健康診断問診票を同封しております。学生生活の中で、健康相談の基礎となりますので、ありのままを書いてください。(個人の秘密は厳守します)

下記の例を参考にして、詳しく記入して下さい。

### 例

今までにかかった病気

\* 腎炎 (腎臓病)

小学校より通院中

大学近くの病院に通院希望

紹介状 (今までの経過) 持参

体育 中学校より参加

激しいスポーツは不可

\* 肝炎

現在、B型肝炎で定期検診のみ

人生にはさまざまな  
可能性がある  
ひとつの道を追い求める  
必要はない

